

0600 | デッサンI

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

三浦明範教授、重政啓治教授、永井研治教授、水上泰財教授、樺山祐和教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、今井庸介講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、清水健太郎講師、神彌佐子講師、瀬島匠講師、東俊行講師、星見講師、山本明比古講師、吉川民仁講師、渡邊洋講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

人間を描く。造形性を学ぶ上で、人物は最も適した対象の一つである。人間の形は限定されたものでありながら、その動きや姿勢によって形の変化は無限であり、その複雑さ、微妙さはとても魅力的である。

通信授業では、自分や家族を描き、面接授業ではモデルを使い、人物の骨格や形態、フォルムの美しさ、生命力などの把握を目指す。

課題の概要

○通信授業課題「家族・自分を描く」

1-1 家族・自分をクロッキーする。

1-2 「1-1」と同モチーフをデッサンする。

○面接授業課題「人間を描く」

1-1 人体（ヌード及びコスチューム）をクロッキー・デッサンする。B2 画用紙または木炭紙。描画材は鉛筆または木炭。2 点提出。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『デッサンI・II デッサン研究 平成 29 年度』の「デッサンI」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第 1 章「デッサン・油彩」等を参照。

[面接授業]

第 1 日 午前：前提講義及び制作 午後：制作（人体を描く）

第 2 日 午前：制作 午後：制作

第 3 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『デッサンI・II デッサン研究 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）